



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月9日

上場会社名 オーウイル株式会社 上場取引所 東  
コード番号 3143 URL <https://owill.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊達 一紀  
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 青柳 あゆみ TEL 03 (5772) 4488  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	32,346	6.2	1,434	28.4	1,329	18.4	851	13.6
2025年3月期第3四半期	30,456	24.7	1,117	45.9	1,123	53.5	749	36.3

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 922百万円 (15.8%) 2025年3月期第3四半期 796百万円 (38.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	94.56	—
2025年3月期第3四半期	83.48	—

(注) 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	22,004	6,101	26.9	656.08
2025年3月期	16,231	5,266	31.6	570.24

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 5,917百万円 2025年3月期 5,123百万円

(注) 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2026年3月期	—	6.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	20.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2026年3月期（予想）の1株当たり期末配当金につきましては当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、1株当たり年間配当金合計は「—」としております。なお、株式分割を考慮しない場合の2026年3月期（予想）の1株当たり期末配当金は60円、1株当たり年間配当金は66円となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	2.2	1,150	△1.1	1,100	△4.5	700	△23.5	77.70

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 2社 （社名）NIITAKAYA U. S. A. INC.、株式会社アクセルテック、除外 1社 （社名）－

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	9,450,000株	2025年3月期	9,450,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	429,987株	2025年3月期	465,987株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	9,005,613株	2025年3月期3Q	8,978,013株

（注）当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（株式分割の配当及び業績予想について）

当社は2025年6月9日開催の取締役会において、株式分割について決議し、2025年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しております。これに伴い、株式分割考慮前に換算した2026年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 2026年3月期の配当予想

1株当たり配当金 第2四半期末 6円（注1） 期末 60円（注2）

2026年3月期の1株当たり年間配当金（株式分割考慮前）は66円となります。

2. 2026年3月期の通期の連結業績予想

1株当たり当期純利益 期末 233円10銭（注3）

（注1）第2四半期末の配当は、株式分割実施前の株式数に対して支払われます。

（注2）株式分割考慮前に換算した配当額であります。

（注3）株式分割考慮前に換算した1株当たりの当期純利益であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(企業結合等関係) .....	10
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の継続的な改善や国内企業の設備投資の持ち直し等により、景気の緩やかな回復が見られました。しかしながら、日本国内における金利水準の高まりや、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスク、物価上昇の継続等を背景に、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主力マーケットである食品飲料業界においては、原材料価格の高騰や人件費の上昇等に対応した商品の値上げの影響により、消費者の節約志向が強まる傾向が見られ、今後の経営環境は引き続き厳しい状況が予想されます。

このような状況のもと、当社グループは「お客様に十分ご満足のゆく商品・サービスの提供」を品質方針として、安心かつ安全な商品を提供することを第一に品質管理体制の強化を図り、お客様のニーズに合わせた安定的な供給の継続及びサービスの向上に努めてまいりました。卸売事業において、主力商材である食品副原料、農産物加工品、乳及び乳製品、環境関連商材の販売が堅調に推移したことに加え、製造販売事業においても、魚卵製品および漬物製品の加工販売が堅調に推移したことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は32,346,044千円（前年同期比6.2%増）となりました。人件費や物流経費等の販管費が増加したものの、売上高の増加に伴い売上総利益が大幅に増加したことにより、営業利益は1,434,642千円（前年同期比28.4%増）となりました。経常利益は1,329,278千円（前年同期比18.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は851,578千円（前年同期比13.6%増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

#### <卸売事業>

飲食料市場においては、エネルギーコストや原材料価格の高騰に伴う飲食料メーカー各社の商品値上げが浸透しつつありますが、経営環境は依然として厳しい状況が続くものと予想されます。

このような状況のもと、当社グループは取引先の多様なニーズに対応すべく、国内外から安全で安心な原材料・資材を確保し、安定供給体制の維持に努め既存取引先のサービス向上と新規商材の開発・販促に注力してまいりました。糖類や香料などの食品副原料、生クリームやバターなどの乳製品、果物の濃縮汁や茶葉などの農産加工品の販売が前年同期比で増加いたしました。加えて、消費者の健康志向の高まりからアサイーの需要は引き続き高く、販売が好調に推移したこともあり、食品原材料の売上高は前期比で大幅に増加いたしました。また、環境関連商材においては、近年の猛暑やエネルギーコスト上昇による空調の効率化需要の高まりや、展示会への積極的な出展による認知度の向上が功を奏し、主に物流施設向けの大型シーリングファンの出荷が大きく伸びました。以上により、卸売事業の売上高は27,374,946千円（前年同期比1.9%増）となりました。

#### <製造販売事業>

製造販売事業では、日本国内において株式会社海鮮が鮮凍魚介類及び魚卵類の加工販売を、米国内においてNIITAKAYA U. S. A. INC. が漬物ガリ生姜の製造販売を行っております。

外食産業の好調な市場動向の影響を受け、魚卵製品および寿司ネタ商材の販売が前年同期比で増加いたしました。また、NIITAKAYA U. S. A. INC. の事業が当セグメントの業績に本格的に寄与したことで、製造販売事業の売上高は5,030,592千円（前年同期比11.8%増）となりました。

(注) セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ5,440,917千円増加し、20,346,167千円となりました。主な要因は、現金及び預金、売掛金、商品及び製品の増加によるものであります。また、当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べ331,783千円増加し、1,658,095千円となりました。主な要因は、NIITAKAYA U. S. A. INC. の買収に伴う有形固定資産及びのれんの増加によるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて5,772,700千円増加し、22,004,262千円となりました。

② 負債の状況

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ4,523,647千円増加し、12,546,965千円となりました。主な要因は、買掛金及び短期借入金の増加によるものであります。また、当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べ414,148千円増加し、3,356,216千円となりました。主な要因は、長期借入金の増加によるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ4,937,795千円増加し、15,903,182千円となりました。

③ 純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ834,905千円増加し、6,101,080千円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2025年5月12日に発表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,858,922	3,538,504
受取手形	154,584	115,515
売掛金	6,190,604	8,542,897
商品及び製品	3,589,364	5,995,221
未着商品	1,047,251	1,092,553
原材料及び貯蔵品	564,753	552,741
未収入金	149,829	179,347
その他	378,400	374,343
貸倒引当金	△28,462	△44,958
流動資産合計	14,905,249	20,346,167
固定資産		
有形固定資産	125,341	314,363
無形固定資産		
のれん	33,965	485,816
その他	45,142	36,153
無形固定資産合計	79,108	521,970
投資その他の資産	1,121,862	821,761
固定資産合計	1,326,312	1,658,095
資産合計	16,231,562	22,004,262
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,200,865	8,578,209
1年内償還予定の社債	80,000	80,000
短期借入金	620,000	1,347,647
1年内返済予定の長期借入金	1,252,467	1,456,058
未払金	224,312	366,014
未払法人税等	385,606	253,000
賞与引当金	59,892	36,753
役員退職慰労引当金	—	207,000
その他	200,174	222,283
流動負債合計	8,023,318	12,546,965
固定負債		
社債	130,000	80,000
長期借入金	2,643,291	3,111,619
資産除去債務	3,047	3,047
退職給付に係る負債	25,297	27,394
その他	140,433	134,156
固定負債合計	2,942,068	3,356,216
負債合計	10,965,386	15,903,182
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金	294,534	300,051
利益剰余金	4,444,121	5,164,118
自己株式	△196,991	△181,772
株主資本合計	4,905,052	5,645,785
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100,154	103,441
繰延ヘッジ損益	△10,104	25,320
為替換算調整勘定	127,956	143,267
その他の包括利益累計額合計	218,006	272,028
非支配株主持分	143,116	183,266

純資産合計	5,266,175	6,101,080
負債純資産合計	16,231,562	22,004,262

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	30,456,001	32,346,044
売上原価	27,149,041	28,341,278
売上総利益	3,306,959	4,004,765
販売費及び一般管理費	2,189,424	2,570,123
営業利益	1,117,535	1,434,642
営業外収益		
受取利息	495	2,280
受取配当金	4,132	4,074
受取手数料	145	—
受取補償金	20,230	2,786
補助金収入	3,388	—
為替差益	5,932	—
その他	3,806	1,245
営業外収益合計	38,130	10,387
営業外費用		
支払利息	32,096	49,964
為替差損	—	57,564
その他	466	8,222
営業外費用合計	32,563	115,751
経常利益	1,123,103	1,329,278
特別利益		
固定資産売却益	919	—
受取保険金	—	179,788
特別利益合計	919	179,788
特別損失		
役員退職慰労引当金繰入額	—	207,000
特別損失合計	—	207,000
税金等調整前四半期純利益	1,124,022	1,302,066
法人税、住民税及び事業税	412,581	507,524
法人税等調整額	△36,095	△66,624
法人税等合計	376,486	440,899
四半期純利益	747,536	861,166
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,949	9,588
親会社株主に帰属する四半期純利益	749,486	851,578

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	747,536	861,166
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,520	3,286
繰延ヘッジ損益	32,005	35,424
為替換算調整勘定	29,937	22,780
その他の包括利益合計	49,421	61,491
四半期包括利益	796,957	922,658
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	792,141	905,586
非支配株主に係る四半期包括利益	4,816	17,071

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	28,539千円	24,393千円
のれんの償却額	6,368	66,844

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,592,978	3,863,023	30,456,001	—	30,456,001
セグメント間の内部 売上高又は振替高	262,889	638,096	900,985	△900,985	—
計	26,855,867	4,501,119	31,356,987	△900,985	30,456,001
セグメント利益	824,118	336,017	1,160,136	△42,601	1,117,535

(注) 1. セグメント利益の調整額△42,601千円は、子会社株式の取得関連費用及びセグメント間取引消去等△42,601千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

製造販売事業セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間に株式会社海鮮の株式を取得したことに伴い、のれんが42,457千円発生しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,315,898	5,030,145	32,346,044	—	32,346,044
セグメント間の内部 売上高又は振替高	59,047	447	59,495	△59,495	—
計	27,374,946	5,030,592	32,405,539	△59,495	32,346,044
セグメント利益	935,232	520,888	1,456,120	△21,478	1,434,642

(注) 1. セグメント利益の調整額△21,478千円は、子会社株式の取得関連費用及びセグメント間取引消去等△21,478千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

製造販売事業セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間にNIITAKAYA U. S. A. INC. の株式を取得したことに伴い、のれんが511,321千円発生しております。

なお、のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

当社は2025年4月14日開催の取締役会において、NIITAKAYA U. S. A. INC. の発行済株式の85%を追加取得し、同社の発行済株式数の95%を所有することにより、子会社化することを決議いたしました。当該株式の取得は、2025年4月16日に完了しております。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業内容

被取得企業の名称 NIITAKAYA U. S. A. INC.

事業の内容 漬物ガリ生姜製造販売及びテナント販売

② 企業結合を行った理由

当社グループは、商社として、食を中心とした事業を展開しており、主に食品原材料の国内販売及び輸出入取引を行っております。また、事業の多角化を図るべく新規事業の開発にも注力しており、近年では環境事業への取り組みを推進し、関連アイテムの販売活動を行っております。

NIITAKAYA U. S. A. INC. は米国において漬物ガリ生姜製造販売及びテナント販売を中心に事業を展開しております。当社グループは、海外展開の加速を今後の成長戦略の一つと位置付けており、米国の漬物市場で高いシェアをもつNIITAKAYA U. S. A. INC. を子会社化することで米国食品市場への本格的な進出が可能となり、当社グループの更なる成長に繋がるものと判断し、本株式取得を行うことといたしました。

③ 企業結合日

2025年4月16日

④ 企業結合の法的形式

株式取得

⑤ 結合後企業の名称

名称に変更はありません。

⑥ 取得した議決権比率

企業結合直前に所有していた議決権比率 10%

企業結合日に追加取得した議決権比率 85%

取得後の議決権比率 95%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものであります。

(2) 四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2025年4月1日から2025年9月30日まで

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

企業結合直前に所有していた普通株式の企業結合日における時価 100,006千円

企業結合日に追加取得した普通株式の対価(現金) 850,055千円

取得原価 950,061千円

(4) 被取得企業の取得原価と取得するに至った取引ごとの取得原価の合計額との差額

該当事項はありません。

(5) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 59,000千円

(6) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれん

511,321千円

なお、のれんは、当四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

② 発生原因

主として今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力により発生したものであります。

③ 償却方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却

(7) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	733,489千円
固定資産	157,488
<hr/> 資産合計	<hr/> 890,978
流動負債	286,948
固定負債	142,197
<hr/> 負債合計	<hr/> 429,145

(重要な後発事象)

該当事項はありません。